

平成 25 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

事務事業名	乳幼児健診	予算事業名		担当課	健康福祉課			
会計名称	一般会計	予算科目	4 款 1 項 5 目	所属長名	藤 充子			
総合計画での位置づけ	すべての町民が健やかに暮らせるまちをつくる			担当責任者名(記入者)	山下 友紀子			
事業の性格	■ 内部管理事務 □ 法定事務		法令根拠等	母子保健法				
事業の対象	4・7・12か月児、1歳6か月児、3歳児		実施期間	【開始年度】	平成 -1988 年度			
				【終了年度】	平成 年度(予定) ■ 設定なし			
事業の目的	乳幼児の健康の保持増進を目的に、身体面・精神面の発達、養育状況を確立し、必要であれば適切な保健指導、療育、医療などにつなげる。		事業の内容	4・7・12か月児は月1回、3歳・1歳6か月児は2か月に1回、ヘルスC&Cセンターで健康診査を行う。①計測②尿検査(3歳)③問診④離乳食指導(4・7・12か月児)⑤歯科保健指導(12か月、1歳6か月、3歳)⑥診察⑦みそ汁塩分測定(1歳6か月)⑧保健指導終了後には従事スタッフ内のカンファレンスを実施。				
改善策の具体的な取り組み(当初)	未受診者については、再度通知、電話、訪問などで受診勧奨をし係内で未受診者の状況が把握できない場合、福祉係や保育園などから情報を得て、健康状態、発達、養育状況を把握した。		改善策の具体的な取り組み(二次評価後)	何度も連絡や訪問を重ねることによって、未受診者の状況把握は全て出来たが、受診までつなげることが出来ない者もいた。次年度も引き続き、未受診者対策を行う必要がある。				
事業費及び財源内訳 (千円)								
項目		24 年度決算	25 年度予算	9月末の執行状況	25 年度決算			
事業費	直接事業費	1,856	2,325		2,080			
	人件費	3,134	4,738		4,738			
	合計	4,990	7,063		6,818			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源	4,990	7,063		6,818				
事務量	① 人工数	0.43	0.67		0.67			
	② 人件費単価	7,289	7,073		7,073			
	③ 補助事業人件費							
	人件費(①×②-③)	3,134.27	4,738.91		4,738.91			
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	5年間の合計	
		3,374	2,226	2,226	2,226	2,226	12,278	
成果指標	乳幼児健診受診率 (%)	区分年度		24 年度	25 年度	26 年度	目標 28 年度	
指標設定の考え方	疾病・発達の遅れの早期発見のためには、より多くの児が受診することが望ましいため。	実績	97.1	94.8			97	
		目標	97	97	97		97	
今年度の課題への対応状況(途中経過)	保育園、福祉係、子育て支援係と連携しながら、未受診者の状況を把握し、可能な限り受診につなげている。							
事業の一次評価(所属長)	自己評価(担当者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E	A	自己の課題認識
			町民ニーズへの対応	5 4 3 2 1	4			
			町の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5			
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	4			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	4			
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5			
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	4				
		コスト効率	5 4 3 2 1	4				
		受益者負担の適正	5 4 3 2 1	5				
		妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5			
			町民ニーズへの対応	5 4 3 2 1	4			
			町の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5			
有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	4					
	成果向上の可能性	5 4 3 2 1	4					
	施策への貢献度	5 4 3 2 1	5					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	4				
		コスト効率	5 4 3 2 1	4				
		受益者負担の適正	5 4 3 2 1	4				
3歳児になると、保護者の就業などの理由で受診率が低下している。未受診者の中には、養育環境や発達などの問題を抱えている場合もあるため、必ず状況を把握する。								
健診受診率100%が望ましいが、未受診者の現状把握はできているので、今後も未把握者がいないよう、地域および関係機関等との連携が重要である。								

事務事業名	乳幼児健診	予算事業名		担当課	健康福祉課
会計名称	一般会計	予算科目	4 款 1 項 5 目	所属長名	藤 充子
総合計画での位置づけ	すべての町民が健やかに暮らせるまちをつくる			担当責任者名（記入者）	山下 友紀子
				電話番号（内線）	
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等	母子保健法	
事業の対象	4・7・12か月児、1歳6か月児、3歳児		実施期間	【開始年度】	平成 -1988 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
事業の目的	乳幼児の健康の保持増進を目的に、身体面・精神面の発達、養育状況を確認し、必要であれば適切な保健指導、療育、医療などにつなげる。		事業の内容	4・7・12か月児は月1回、3歳・1歳6か月児は2か月に1回、ヘルスC&Cセンターで健康診査を行う。①計測②尿検査（3歳）③問診④離乳食指導（4・7・12か月児）⑤歯科保健指導（12か月、1歳6か月、3歳）⑥診察⑦みそ汁塩分測定（1歳6か月）⑧保健指導終了後には従事スタッフ内のカンファレンスを実施。	
改善策の具体的な取り組み（当初）	未受診者については、再度通知、電話、訪問などで受診勧奨をし係内で未受診者の状況が把握できない場合、福祉係や保育園などから情報を得て、健康状態、発達、養育状況を把握した。		改善策の具体的な取り組み（二次評価後）	何度も連絡や訪問を重ねることによって、未受診者の状況把握は全て出来たが、受診までつなげることが出来ない者もいた。次年度も引き続き、未受診者対策を行う必要がある。	

（自己評価） 担当者評価	妥当性	目的の妥当性	5	A	A	5	目的の妥当性	妥当性	一次評価
		町民ニーズへの対応	4			4	町民ニーズへの対応		
		町の関与の妥当性	5			5	町の関与の妥当性		
	有効性	事業の効果	4	B	B	4	事業の効果	有効性	
		成果向上の可能性	4			4	成果向上の可能性		
		施策への貢献度	5			5	施策への貢献度		
	効率性	手段の最適性	4	B	B	4	手段の最適性	効率性	
		コスト効率	4			4	コスト効率		
		受益者負担の適正	5			4	受益者負担の適正		
課題認識	3歳児になると、保護者の就業などの理由で受診率が低下している。未受診者の中には、養育環境や発達などの問題を抱えている場合もあるため、必ず状況を把握する。 自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。				健診受診率100%が望ましいが、未受診者の現状把握はできているので、今後も未把握者がいないよう、地域および関係機関等との連携が重要である。		課題認識		

施策を踏まえた判断	二次評価（所属長）	<input type="checkbox"/> 一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。		
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		<input type="checkbox"/> 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。		一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。
		<input type="checkbox"/> 町民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。		行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日
		<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
<input type="checkbox"/> 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 【 評価 A : 計画どおり事務事業を進めることが適当である。 】 当事業は「町おこし」の施策として考えるべきレベルであり、全国どころか世界的にも稀にみるほどの事業である。内容もその後のフォローアップも充実したこの健診を広くアピールし、受診者を増やす工夫をされたい。 なお、未受診者については分析を行い、ターゲットを定めて広報戦略をたてていただきたい。町の魅力として人口増に結びつくことを期待する。
------------	------	--

経営者会議の最終判断	事業の方向性 <input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。	コメント欄
	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>	